

(社)日本糖尿病教育・看護学会
第13回 糖尿病透析予防支援 質向上のための研修 プログラム

テーマ 『気づく！ひもづく！腑に落ちる！支援シートを活用して認識に働きかける糖尿病透析予防支援』

開催日時:2026年6月7日(日)9:00~16:40 場所:AP横浜
主催:日本糖尿病教育・看護学会 研修推進委員会

【研修目的】

糖尿病性腎症の治療、食事・運動療法のパラダイムシフトを理解し、「患者が腎症と向き合い自分らしく生きる」ために、支援シートを活用して認識に働きかける支援を習得する。

【研修目標】

1. 患者の腎症段階を正しく理解し、セルフケア支援の力を養う。
2. 患者の認識に働きかける支援を理解し、支援シートを活用する力を身につける。
3. 支援者の関わりを振り返り、患者の気づきを促す支援のあり方を考える。

	司会オリエンテーション	八戸市立市民病院 久保睦子	10分	9:00~9:10
講義1	看護支援: 支援シートを活用して認識に働きかける気づきを促す支援 【ねらい】 人の認識活動を理解し、支援シートを活用して認識へ働きかけ、患者の気づきを促す支援の重要性を学ぶ	川崎市立井田病院 柳井田恭子	60分	9:10~10:10
休憩	中休み		10分	10:10~10:20
演習1	デモンストレーション型演習: 支援シートを活用して気づきを促す糖尿病透析予防支援の実際 【ねらい】 演劇形式の事例を通じて、支援シートを活用して、認識に働きかける運動支援やセルフケア支援の方法を学ぶ	川崎市立井田病院 柳井田恭子 八戸市立市民病院 久保睦子 JCHO四日市羽津医療センター 平岡めぐみ 土佐市立土佐市民病院 浜田詩子 岡崎市民病院 吉田照美	90分	10:20~11:50
休憩	昼休憩		60分	11:50~12:50
演習2	グループワーク: 支援シート活用して気づきを促す糖尿病透析予防支援の事例検討 【ねらい】 病態アセスメントを踏まえ、糖尿病性腎症第2期~4期に応じた支援方法を検討し、実演型発表で支援のあり方を共有する。	岡崎市民病院 吉田照美	180分	12:50~15:50
休憩	中休み		10分	15:50~16:00
講義2	看護の成果としての診療報酬: 糖尿病透析予防指導管理料及び高度腎機能障害患者指導加算の算定の実際 【ねらい】 糖尿病透析予防支援についてA病院の取り組みを知り、自施設での算定について考えることができる。	土佐市立土佐市民病院 浜田詩子	30分	16:00~16:30
まとめ	本研修のまとめ 日本糖尿病教育・看護学会 研修推進委員会委員長 青木美智子 アンケート・閉会		10分	16:30~16:40